

トリノ工科大学（イタリア） ダブル・ディグリープログラム 学生募集

博士前期課程2年次にイタリアの古都トリノに1年間留学し、トリノ工科大学と本学の二つの修士号を取得するプログラムです。

日本とイタリア双方の指導を受けることで、研究力を高めるとともに、コミュニケーション力の飛躍的な向上をはかり、海外でも即戦力として活躍できる人材を育成します。



Photo: Wataru Sakai

渡航期間：2022年2月中旬～2023年3月（予定）

募集人員：最大5名

申請要件： ① 博士前期課程 材料創製化学専攻/材料制御化学専攻1回生(2021年4月入学者)
② 英語能力がIELTS5.5と同等※またはそれ以上の者
※TOEICの場合：Listening: 400以上、Reading: 385以上、
Speaking: 160以上、Writing: 150以上。

TOEFL ibtの場合：72以上

③ 学業成績が優秀な者

申請書類： ① 申請書

② TOEIC・IELTS等、英語能力を示すスコア

③ Motivation Letter（志望動機 英文 A4 1枚程度）

スケジュール：

- 6月末まで：事前相談（申請希望者は、指導教員の承諾を得た上で、コーディネーター教員（下記問合せ先）に**必ず個別相談**すること。）
- 8月初め：申請書提出期限
- 9月：書類選考・面接審査、成績確認（M1前期）
- 11月：トリノ工科大学から受入承諾通知
- 12～1月：ビザ申請＆奨学金手続き・渡航前オリエンテーション
- 2月中旬：渡航

その他：

- ・申請に当たっては必ず保証人と指導教員の承認を得ること。
- ・渡航に当たっては大学が指定する海外旅行保険に加入すること（自己負担）。
- ・奨学金：一人当たり月額 80,000円（×12ヶ月分）の支給を予定しています。
※2021年度の予算によります。
※KITグローバル人材育成事業の申請要件を満たす必要があります。

トリノ

イタリア北部ピエモンテ州の州都で、イタリア第4の人口の都市。イタリア統一時の最初の首都でもあった、豊かな歴史を持つ。ミラノに次ぐイタリア第2の工業都市であり、自動車会社フィアットの本社がある。サッカーリーグセリエAのユヴェントスの本拠地として、またチョコレート発祥の地としても有名。

トリノ工科大学

(Politecnico di Torino: PoliTo)

1859年創立、工料系としてはイタリアで最も古い大学。工学、建築、デザイン等の学部を持ち、世界大学ランキングの工学分野で33位（2018年QS）など、高い水準の教育と研究で知られる。

京都工芸繊維大学とは2017年に協定を締結し、材料化学分野での共同研究、デザイン・建築分野での合同スタジオなどが実施されてきた。

2018年12月、同大学が所有するヴァレンティノ城に面したKIT-Roomが開設された。



留学期間中のスケジュール（予定）

2022年
2月中旬：渡航
3月～6月中旬：春学期
6月中旬～7月末：試験期間
9月上旬：追試験期間

10月～1月中旬：秋学期
1月下旬～3月上旬：試験期間
3月中旬：修士論文発表・審査@PoliTo

論文発表に本学からも教員が参加します（TV会議等による参加を含む）。必要に応じて、本学において口頭試問等を行う場合もあります。



POLITECNICO
DI TORINO

【問合せ先】材料化学系
教授 山雄健史 yamao@kit.ac.jp
教授 坂井互 wsakai@kit.ac.jp

【注意】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、渡航が見合わせられる場合があります。選考後に状況に応じて対応をお知らせします。